

Ver.2 原文	問題点	Ver.3 修正案
<p>11. * さんのADL(日常生活動作)を上げていたり、維持していくときのことをお聞きします。</p> <p>11-1) 苦痛や危険を防ぎながらADL拡大を行ったことがありますか。 (例:術後のADL拡大や心筋梗塞のリハビリ開始など)</p> <p>( )はい ( )いいえ → 他の患者で構いませんので時期続き以下の質問にお答えください ( )該当なし → 12-1)へ進んでください</p> <p>11-2) そのケアをすすめた時の予測された危険性(リスク)は何ですか。</p> <p>11-3) それをどう防ぎましたか。</p> <p>11-4) そのケアを進める中で中止したことがありますか。</p> <p>( )はい ( )いいえ → 他の患者で構いませんので引き続き以下の質問にお答えください ( )該当なし → 12-1)へ進んでください</p> <p>11-5) それはどんなサインがあったって中止しましたか。</p>		
<p>12. 看護婦同士の協力についてお聞きします。</p> <p>12-1) この1週間で、他の看護婦を手伝ったことがありますか。</p> <p>a. はい b. いいえ → 12-3)へ進んでください</p> <p>&lt;a. はい を選択した方は、手伝った内容をお書きください。&gt;</p> <p>12-2) 手伝った方はどうしてそのような手伝いをしたのですか。</p> <p>a. 自主的に手伝った b. 頼まれて手伝った c. 指示されて手伝った</p>		
<p>12-3) * さんに限らず、病棟全体を巻き込むような突発的なこと(心停止、急変など)が起った時にあなたはどうしましたか、具体的に教えてください。</p>	<p>①いつのことか、どの患者のことか、何を書くのかわからなかった。どの勤務シフトのことを書いてよいかわからなかった、などの意見が多かった。</p> <p>②記入するスペースが少ない。</p>	<p>①今日受け持った日のこのことであるが、再度強調し、「今日受け持った」と入れてはどうか。結論は未。</p> <p>②スペースを多く取る。</p>

Ver.3 修正案	問題点	Ver.2 原文
		<p>13. * *さんに限らず、医師の指示内容が患者の状態にあっていない、あるいは不確かだと思ったとき、あなたはどうか判断し、何を行いましたが、一般論ではなく患者さんの状況、医師に働きかけた具体的な言葉、内容をお書きください。</p>
		<p>14. 今日あなたは自分の役割を、* *さんやご家族に伝えましたか。</p> <p>a. はい b. いいえ</p>
		<p>15. あなたは、* *さんやご家族に初対面の時に自己紹介をしましたか。</p> <p>a. はい b. いいえ</p>
		<p>16. 今日、* *さんに行った検査、処置の看護ケアは手順通りに行いましたか。</p> <p>a. 手順通りに行った b. 理由があって手順を変更した c. 手順通り行わなかった</p>
		<p>17. あなたの病棟では看護婦同士や他の職種と気持ちよく仕事ができていますか。 17-1) 看護婦同士の場合</p> <p>a. 非常に気持ちよく仕事ができる b. まあまあ気持ちよく仕事ができる c. あまり気持ちよく仕事ができない d. 気持ちよく仕事ができない</p> <p>17-2) 他の職種の場合</p> <p>a. 非常に気持ちよく仕事ができる b. まあまあ気持ちよく仕事ができる c. あまり気持ちよく仕事ができない d. 気持ちよく仕事ができない</p>

Ver.2 原文	問題点	Ver.3 修正案
<p>18. 面会についてお聞きします。 18-1) あなたの病棟の面会時間は決まっていますか。 ( ) 決まっている → 18-2)、18-3) へ進んでください ( ) 決まっていない → 質問はこれで終了です</p> <p>a. m. . . . . 時 ~ 時 p. m. . . . . 時</p> <p>18-3) 面会時間の融通について以下の中から該当するものを選んでください。</p> <p>a. 対応した看護婦の判断で融通できる b. 婦長か主治医に判断を委ねる c. 融通することはない</p> <p style="text-align: center;"><b>全般的な事項</b></p>	<p>①時間がみにくい。</p> <p>①・受け持ち患者ではなかったので、わからなくて書きにくかった。 ・受け持ちでもプライマリーでもない看護婦が回答したケースもあった。</p>	<p>① 面会時間をお書きください。</p> <p>時 ~ 時まで と 時 ~ 時まで</p> <p>①自己評価に協力してもらおう条件が、婦長によく伝わっていないか。 条件をよく理解してもらおうため、フローチャートを作成してはどうか。</p> <p>例) 1) 患者の条件を示す…痛みがある、看護婦によって保濟が行われている。 2) 上記条件に合う患者を選定してから、調査日を決める。 3) その調査日に、選定した患者を一番よく知っている看護婦に自己評価に回答してもらおうよう、依頼する。</p>

## 2. 自己評価プログラム

(1) 第三者評価プログラムを基盤に、自己評価プログラムを開発した。

(2) 評価判定尺度もとに自己評価した結果と、記述部分をもとに研究者が総合的に判定する方法は、このまま採用することができる。

(3) 評価項目は今後さらに洗練する。

開発等に貢献できるものとする。

## 研究協力者

阿部俊枝（青森県立保健大学）

板野優子（青森県立保健大学）

## E. 今後の展望

### 1. 「看護 QI プログラム・第三者評価」

研究用ツールから実用的、組織的な評価に活用できるよう、利便性を考慮した評価プログラムに洗練していく。そのために、①質評価サーベイのサーベイヤー及び質評価を受けた施設に、ヒアリングを行い、利便性や実用性を検討する、②他の質評価との併用を進めながら、妥当性を検討する、③サーベイヤーの育成・訓練のプログラムを開発する、などの課題がある。

### 2. 「看護 QI プログラム・自己評価」

看護ケアの質評価の普及をめざして、より利便性の高い、自己評価型評価プログラムを洗練する。

### 3. 質改善に結びつける管理体制の検討

①質評価の結果を質改善に結びつけていくことをめざし、②質評価後のフォローアップシステムやコンサルテーションシステムを検討する、③質改善のための管理体制モデルを開発することを進めていきたい。

### 4. 質評価結果のデータを集積するシステムの開発

質評価結果を集積し、かつ情報提供システムを開発することで、質評価リコメンデーションを作成する中心となるとともに、質改善のための情報提供や、研究

資料1 看護QIプログラム・自己評価「過程評価」検討経過

指 標	評 価 内 容	評価方法	評 価 項 目	評 価 尺 度											
1. 患者への接近： 看護婦は、患者や家族と関係を作りながら患者を把握していく。	1-1 看護婦は、患者や家族が望んでいることは何かを知っている。	半統制型質問紙による面接	①あなたは、**さんやご家族が病気や入院についてどうなりたいと思っているのかを知っていますか？ それはどんなことですか？ ②それはどうしてわかったのですか？ →変更 評価尺度を選択肢として加え、かつそれを確かめるための記述欄を設ける。 5. あなたは**さんやご家族が病気や入院について、どうなりたいと思っているのかを知っていますか。以下から選択し、その内容をお書きください。 a. 客観的な根拠および患者の直接的な言動から確認し知っている b. 患者の反応や言動から察した c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から憶測した d. 知らない <患者さんやご家族がどうなりたいと思っているのか具体的にお書きください。>	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2">知っている</td> <td>確認済み</td> <td rowspan="2">3点</td> </tr> <tr> <td>推測</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">知らない</td> <td>憶測</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0点</td> </tr> </table>	知っている	確認済み	3点	推測	2点	知らない	憶測	1点			0点
	知っている		確認済み	3点											
			推測		2点										
	知らない		憶測	1点											
			0点												
1-2 看護婦は、患者や家族がどのような情報を欲しいと思っているかを知っている	①あなたは、**さんやご家族がどのような情報を欲しいと思っているかを知っていますか？ それはどんなことですか？ ②それはどうしてわかったのですか？ →変更 評価尺度を選択肢として加え、かつそれを確かめるための記述欄を設ける。 6. 患者さんやご家族が望んでいることについてお聞きます。 6-1) あなたは、**さんやご家族がどのような情報を欲しいと思っているのかを知っていますか。以下から選択し、その内容をお書きください。 a. 客観的な根拠および患者の直接的な言動から確認し知っている b. 患者の反応や言動から察した c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から憶測した d. 知らない <それはどのようなことですか。具体的にお書きください。>	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2">知っている</td> <td>確認済み</td> <td rowspan="2">3点</td> </tr> <tr> <td>推測</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">知らない</td> <td>憶測</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0点</td> </tr> </table>	知っている	確認済み	3点	推測	2点	知らない	憶測	1点			0点		
知っている	確認済み	3点													
	推測		2点												
知らない	憶測	1点													
			0点												
( 2-A-1 看護婦は、患者や家族のおかれている状態・状況を説明している )	③ その情報をご家族にどのように伝えましたか？ → 変更 評価尺度を選択肢とした。 6-2) その情報を**さんやご家族にどのように伝えましたか。 a. 自分が伝えた、もしくは医師が伝える場をつくり伝えた b. 間接的に伝えた(例：誰かに頼んだ、パンフレットを渡した) c. 伝えていない	2-A-1 参照													
1-3 看護婦は、患者や家族がどのようなことをして欲しいと思っているかを知っている	①あなたは、**さんやご家族がどのようなことをして欲しいと思っているかを知っていますか？ それはどんなことですか？ ②どうしてそのように思うのですか？理由を話して下さい。 →変更 評価尺度を選択肢として加え、かつそれを確かめるための記述欄を設ける。 6-3) あなたは、**さんやご家族がどのようなことをして欲しいと思っているかを知っていますか。以下から選択し、その内容をお書きください。 a. 客観的な根拠および患者の直接的な言動から確認し知っている b. 患者の反応や言動から察した c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から憶測した d. 知らない <それはどのようなことですか。具体的にお書きください。>	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2">知っている</td> <td>確認済み</td> <td rowspan="2">3点</td> </tr> <tr> <td>推測</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">知らない</td> <td>憶測</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0点</td> </tr> </table>	知っている	確認済み	3点	推測	2点	知らない	憶測	1点			0点		
知っている	確認済み	3点													
	推測		2点												
知らない	憶測	1点													
			0点												

指 標	評 価 内 容	評価方法	評 価 項 目	評 価 尺 度
			③ **さんやご家族がして欲しいと思っていることについて、どうしていますか？ →変更 記述式とする 6-4) **さんやご家族がして欲しいと思っていることについて、どうしていますか。できるだけ具体的にお書きください。	<input type="checkbox"/> 具体的方略を持っている/実施している 1点 <input type="checkbox"/> " 持っていない 0点
	1-4 看護婦は、患者の状況・状態を十分把握している		③ **さんの身体状況・状態について今一番気をつけている点は何ですか？ →変更 記述式とする 2. **さんの身体状態・生活の状況について今一番気をつけていることとそれに対する看護ケアをお書きください。  ④ **さんの今後の見通しを話して下さい。 →変更 記述式とする。 3. **さんの今後の見通しを記入してください。	合計得点で判断する ・医学的に把握している 1点 ・患者の生活状況がある 1点 ・その患者に対する看護ケアがある 1点
	2-B-2 患者或いは家族に今後の予定が説明されている)		⑤ **さんの見通しを患者或いはご家族にどのように伝えていきますか？ どうして伝えたのですか？ (伝えていない場合) なぜ、伝えなかったのですか？ → 変更 2-B-2参照	2-B-2 参照
	1-5 看護婦は自己紹介をする		①あなたは、**さんやご家族に初対面の時に自己紹介をしましたか？ →変更 評価尺度を選択肢に加えた。 15. あなたは、**さんやご家族に初対面の時に自己紹介をしましたか？ a. はい b. いいえ	<input type="checkbox"/> 自己紹介をしている 1点 <input type="checkbox"/> " していない 0点
			②今日、あなたは自分の役割をどのように**さんやご家族に伝えましたか？ →変更 評価尺度を選択肢に加えた。 14. 今日あなたは自分の役割を、**さんやご家族に伝えましたか。 a. はい b. いいえ	<input type="checkbox"/> 役割を伝えている 1点 <input type="checkbox"/> " 伝えていない 0点
2. 患者あるいは家族の内なる力を強める A. 看護婦は、患者の状況理解を促す	2-A-1 看護婦は、患者や家族のおかれている状態・状況を説明している	半統制型質問紙による面接	③ その情報をご家族にどのように伝えましたか？   ⑦痛みに関して次のことを**さんにはどのように説明していますか？ 1) 痛みの状態、2) 痛みに対する処置・治療の選択、3) 看護ケア、4) 見通し	<input type="checkbox"/> 伝えている <input type="checkbox"/> 自分が伝えた又は医師が伝える場を作り伝えた 2点 <input type="checkbox"/> 間接的に伝えた 1点 <input type="checkbox"/> 伝えていない 0点  イ <input type="checkbox"/> 具体的に原因・根拠を言っている 2点 <input type="checkbox"/> 伝えているが内容は不明 1点 <input type="checkbox"/> 言っていない 0点  ロ・ハ・ニ) 各項目毎に <input type="checkbox"/> 説明している 1点

指 標	評 価 内 容	評価方法	評 価 項 目	評 価 尺 度
B. 看護婦は、患者の予測性や見通しを高める	2-B-1 患者或いは家族にその日の予定が説明されている		①**さんの1日の流れについて患者或いはご家族に伝えた内容を教えてください。 (伝えていない場合はそれはなぜですか?) →変更 評価尺度を選択肢として加え、かつそれを確かめるための記述欄を設ける。  1. **さんの1日の流れについて**さん本人あるいは、ご家族に伝えましたか。以下から選択し、その内容を記入してください。 a. 1日の流れ(予定)を決める際、患者やご家族と協議した b. 時間や誰がするかという予定を伝えた c. 何が起こるか(あるか)を伝えた d. 予定を伝えていない <伝えた内容を具体的にお書きください。> <伝えていない理由をお書きください。>	<input type="checkbox"/> 予定を決める際、患者と協議している 3点 <input type="checkbox"/> 時間や誰がするかという予定を伝えている 2点 <input type="checkbox"/> 何が起こるか(あるか)を伝えている 1点 <input type="checkbox"/> 伝えていない 0点
	2-B-2 患者或いは家族に今後の予定が説明されている		⑤**さんの見通しを患者或いはご家族にどのように伝えていますか? どうして伝えたのですか? (伝えていない場合)なぜ、伝えなかったのですか? →変更 評価尺度を選択肢として加え、かつそれを確かめるための記述欄を設ける。  4. **さんの見通しを**さん本人あるいはご家族にどのように伝えていますか。以下から選択し、その内容をお書きください。 a. 自分が伝えた、もしくは医師が伝える場を作り伝えた b. 間接的に伝えた(例:誰かに頼んだ、パンフレットを渡した) c. 伝えていない <どうして伝えたのですか。また、伝えていない場合は、なぜ、伝えなかったのですか。具体的にお書きください。>	<input type="checkbox"/> 伝えている <input type="checkbox"/> 自分が伝えた又は医師が伝える場を作り伝えた 2点 <input type="checkbox"/> 間接的に伝えた 1点 <input type="checkbox"/> 伝えていない 0点
	2-B-3 看護婦が患者の状況を見通しながら計画を立てている → 4-C-1 で評価			
3. 家族の絆を強める	3-1 看護婦は、患者ケアの中で家族とできることは一緒に 行う	半統制型質問紙による 面接	①**さんのケアの中でご家族ができる事をしてもらっていることはありますか? あるいは一緒にやっていることはありますか? →変更 7. ご家族のケアへの参加についてお聞きします。 7-1) **さんのケアの中でご家族ができることをしてもらっていることはありますか。あるいは一緒に行っていることはありますか。 ( ) はい→ 質問7-2)、7-3)、7-4)へ進んでください ( ) いいえ→ 質問7-5)へ進んでください  ②それはどんなことですか?それは(意図的にご家族とするのは) どうしてですか? →変更 記述式とする。 7-2) その内容を具体的にお書きください。 7-3) なぜ、ご家族と一緒にしようと思ったのですか。 ③患者や家族はどのように捉えていますか? ③ そのことをご家族、本人に確認しましたか?またはそれはどうしてですか? → 削除 評価尺度と関係ないため削除	<input type="checkbox"/> 家族の絆を強める意図がある 1点 <input type="checkbox"/> " 意図がない 0点
	3-2 看護婦は、病院の中で家族ができることを見つけて、 そのための条件を整えている			④それをするために何か工夫していることはありますか? →変更 評価尺度を選択肢として加え、かつそれを確かめるための記述欄を設ける。

指 標	評 価 内 容	評価方法	評 価 項 目	評 価 尺 度
			<p>7-4) ご家族にしてもらう、あるいは一緒に行くにあたって何か工夫していますか。</p> <p>a. 工夫している b. 工夫していない</p> <p>&lt;工夫している場合は、具体的な内容をお書きください。&gt;</p> <p>(家族と一緒にやっていない場合それはどうしてですか?) →変更 評価尺度を選択肢として加え、かつそれを確かめるための記述欄を設ける。</p> <p>7-5) 何故、ご家族と一緒にしていないのか理由があればお書きください。</p> <p>a. 理由がはっきりしている b. 理由がない</p> <p>&lt;理由がはっきりしている場合、その具体的な内容をお書きください。&gt;</p>	<p>あえて何もしていない</p> <p>工夫していない 0点</p> <p>→ 追加 家族のことを判断し看護婦のみができることをしている人と評価を合わせるため</p> <p>家族と一緒にしていない 理由がはっきりしている 2点 理由がない 0点</p>
<p>4. 直接ケア A. 看護婦は、患者にあった保清をする</p>	<p>4-A-1 看護婦は患者の状態や状況に応じた保清の方法をとっている (看護婦は方法論をたくさん持っている)</p>	<p>半統制型質問紙による面接</p>	<p>①今日、実施した**さんの保清に関して患者の個別性にあわせて、病棟でふだんする保清のやり方に追加したり、修正したことがありますか?</p> <p>②どうして追加 (あるいは修正) したのですか? それについて話して下さい。 (変更していない回答では) それはなぜですか?</p> <p>→変更 ①の回答に「はい」「いいえ」の選択肢を加え、それぞれに理由を問う質問を加えた。</p> <p>10. **さんの保清についてお聞きします。</p> <p>10-1) 今日、実施した**さんの保清に関して患者の個別性にあわせて、病棟でふだんする保清のやり方に追加したり、修正したことがありますか? ( ) はい→ 10-2) へ進んでください ( ) いいえ→10-3) へ進んでください</p> <p>10-2) 追加・修正した内容とその理由をお書きください。</p> <p>10-3) それはなぜですか?</p>	<p>患者の状況に合わせて</p> <p>行っている 1点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特性、その人らしさ、価値観、希望</li> <li>・状況、流動的な状態</li> <li>・清潔の必要性の考慮</li> <li>(・統合してケアの方法を判断している)</li> </ul> <p>行っていない</p> <p>根拠があって行っていない場合 1点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特性、その人らしさ、価値観、希望</li> <li>・状況、流動的な状態</li> <li>・清潔の必要性の考慮</li> <li>(・統合してケアの方法を判断している)</li> </ul> <p>根拠がない 0点</p>
<p>B. 看護婦は、苦痛の緩和をする</p> <p>(5. 場をつくる) 看護婦はチームの連携がうまくいくように働きかけている</p>	<p>4-B-1 看護婦は患者に合わせて鎮痛剤などを使用している</p> <p>4-B-3 看護婦は患者が痛みを訴える前に鎮痛剤などを使用している</p> <p>4-B-5 看護婦は鎮痛剤以外の方法で痛みを緩和を行っている</p> <p>4-B-4 看護婦は使用されている鎮痛剤などの効果を評価している</p>		<p>①**さんには痛みがありますか?</p> <p>→削除 痛みのある患者を条件としているので、この質問は削除。</p> <p>②(痛みがない回答では) それは、痛みがコントロールされているということですか?</p> <p>→削除 痛みのある患者を条件としているので、この質問は削除。</p> <p>③**さんの痛みのコントロールをどのようにしていますか? 具体的に教えて下さい</p> <p>→変更 「本人の生活や反応を含めて」という評価尺度を加える。</p> <p>8. **さんの痛みについてお聞きします。</p> <p>8-1) **さんの痛みのコントロールをどのようにしていますか。本人の生活や反応を含めて痛みのコントロールをどのようにしているかを、具体的に記入してください。</p> <p>④**さんの痛みはコントロールされていますか? (されているorされていない場合いずれでも) どうしてそう思うのですか?</p> <p>→変更 質問を2つに分ける</p> <p>8-2) その結果**さんの痛みはコントロールされていますか。</p> <p>8-3) 痛みがコントロールされている、あるいはされていないと思う理由を述べてください。</p>	<p>本人の生活、反応を含めて痛みのコントロールを述べている 2点</p> <p>個別性が見えない/マニュアル的/処方のみを述べている 1点</p> <p>答えられない 0点</p> <p>根拠も含めて効果判定を述べている 2点</p> <p>効果判定をしているが根拠が不明瞭である 1点</p> <p>効果を判定していない 0点</p>

指 標	評 価 内 容	評価方法	評 価 項 目	評 価 尺 度
	<p>4-B-6 看護婦は患者に使用している薬に関して医師に意見を言っている  ( 5-1 看護婦は他職種の専門的な知識や意見を積極的に求めている においても評価する)</p> <hr/> <p>( 2-A-1 看護婦は、患者や家族のおかれている状態・状況を説明している )</p> <hr/> <p>4-B-2 看護婦は患者に必要な鎮痛剤などを間違いなく予薬している  → 6-3 にて評価</p>	<p>記録の閲覧</p>	<p>⑤痛みの治療について医師にどのように働きかけていますか？その内容を教えてください。  下さい。  →変更 評価尺度を選択肢として加え、かつそれを確かめるための記述欄を設けた。</p> <p>8-4) 痛みの治療について医師にどのように働きかけていますか。以下から選択し、かつその内容を記入してください。</p> <p>a. 現状、根拠を含めて改善策を言っている  b. 改善策はあるが根拠を述べていない  c. 現状を述べているが改善策がない  d. 意見を言っていない</p> <p>&lt;働きかけた言葉や内容を具体的に記入してください&gt;</p> <hr/> <p>⑦痛みに関して次のことを**さんにはどのように説明していますか？  ( 1) 痛みの状態、2) 痛みに対する処置・治療の選択、3) 看護ケア、4) 見通し )  →変更 1) 2) 3) 4) に対する回答が得られるよう、質問を4つにわけた。  そのうえで評価尺度を選択肢として加え、かつそれを確かめるため記述欄を設けた。</p> <p>8-5) **さんの痛みの状態は本人にどのように説明していますか。</p> <p>a. 原因、根拠を具体的に伝えている  b. 具体的ではないが伝えている  c. 本人が原因・根拠をわかっていると思うので、伝えていない  d. 全く伝えていない</p> <p>8-6) 痛みに対してなぜその方法を用いているか、**さんに説明していますか。</p> <p>a. 説明している  b. 説明していない</p> <p>&lt;説明している方はどのように説明しているか、具体的に書いてください&gt;</p> <p>8-7) 痛みに関してどのような看護ケアを提供するか説明していますか。</p> <p>a. 説明している  b. 説明していない</p> <p>&lt;説明している方はどのように説明しているか、具体的に書いてください&gt;</p> <p>8-8) 痛みに関する見通しを**さんにどのように説明していますか。</p> <p>a. 説明している  b. 説明していない</p> <p>&lt;説明している方はどのように説明しているか、具体的に書いてください&gt;</p>	<p>意見を言っている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 現状・根拠を含めて改善策を言っている 3点</li> <li>- 改善策はあるが根拠を述べていない 2点</li> <li>- 現状を言っているが改善策がない 1点</li> <li>- 意見を言っていない 0点</li> </ul> <hr/> <p>2-A-1 参照</p>

指 標	評 価 内 容	評価方法	評 価 項 目	評 価 尺 度
C. 看護婦は継続性・個別性のあるケアをする	<p>4-C-1 看護婦は、個々に応じたケアを援助の度に見直し修正している</p>		<p>① **さんの痛みに関する看護ケアに関して、あなたが前に行っていたことと、今日あなたが変えたことはありますか？それはどのようなことですか？</p> <p>② どうして変えたのですか？それについて話して下さい。 (変更していない回答では)それはなぜですか？</p> <p>→変更 質問を一つにした。その上で変更した場合も、していない場合も記述欄にその理由を記入し、ケアの妥当性を検討しているか否かを確認する形式にした。</p> <p>9. ケアの変更についてお聞きします。</p> <p>9-1) **さんの痛みに対し前に行っていたことと、今日あなたが変えたことはありますか。</p> <p>( ) はい→それはなぜですか ( ) いいえ→それはなぜですか</p> <p>③ 以前あなたがケア方法を変えたとき、どのように他のスタッフに伝えましたか？</p> <p>→変更 **さん以外のケアの変更でも良いことを明確にし、かつ伝達の有無と伝達した内容を選択肢として加えた。</p> <p>9-2) **さんに限らず、これまでの経験であなたがケア方法を変えたとき、他のスタッフにその内容を伝えましたか。以下から選択してください。</p> <p>a. 伝えた b. 伝えていない c. 該当なし (これまでの経験上、ケア方法を変えたことがない)</p> <p>&lt; a. 伝えた を選択された方は、該当するものすべてに○をつけてください &gt;</p> <p>( ) 変えた内容 ( ) 変えた理由 ( ) 今後の見通し (例：次の評価時期など)</p> <p>④ 変更したケア内容を記録に残しましたか？</p> <p>はい→後でそれを見せて下さい    いいえ→この質問を終える</p> <p>→変更 伝達方法を選択肢として加えた。</p> <p>9-3) どのような方法で伝えましたか。該当するものすべてに○をつけてください。</p> <p>( ) 申し送りなどを通して伝えた ( ) 変更したことを記録に残した ( ) 看護計画を変更した</p>	<p>ケアの妥当性を検討している 1点 " 検討していない 0点</p> <p>伝えている内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施したこと (方法・内容) と今後の計画 4点</li> <li>・実施したこと (方法) と今後の計画 3点</li> <li>・実施したこと (方法・内容) 2点</li> <li>・実施したこと (方法) 1点</li> <li>・伝えていない 0点</li> </ul>
5. 場をつくる 看護婦はチームの連携がうまくいくように働きかけている	<p>5-1 看護婦は他職種の専門的な知識や意見を積極的に求めている</p>	半統制型質問紙による面接	<p>4-B-6 と同じ評価項目を使用</p> <p>⑤ 痛みの治療について医師にどのように働きかけていますか？その内容を教えてください。</p>	<p>4-B-6 と同じ評価尺度を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見を持っている 3点 <ul style="list-style-type: none"> <li>— 現状・根拠を含めて改善策を言っている</li> <li>— 改善策はあるが根拠を述べていない</li> <li>— 現状を言っているが改善策がない</li> </ul> </li> <li>意見を言っていない 0点</li> </ul>
	5-2 看護婦は他職種間で意見を交換し合う場を作る		構造指標の評価項目で評価する	

指 標	評 価 内 容	評価方法	評 価 項 目	評 価 尺 度
	5-3 看護婦同士が協同している		<p>①この1週間で他の看護婦を手伝ったことについて話して下さい</p> <p>②どのようなことをしたのですか →変更 「はい」「いいえ」の選択肢を設け、手伝った内容の記述欄を設けた。 12. 看護婦同士の協力についてお聞きします。 12-1) この1週間で、他の看護婦を手伝ったことがありますか。 a. はい b. いいえ→12-3)へ進んでください</p> <p>③どうしてそのような手伝いをしたのですか →変更 評価尺度を選択肢として加えた。 12-2) 手伝った方はどうしてそのような手伝いをしたのですか。 a. 自主的に手伝った b. 頼まれて手伝った c. 指示されて手伝った</p> <p>④病棟全体を巻き込むような突発的なこと(心停止・急変等)が起こった時にはあなたはどうしましたか?具体的に教えてください →変更 12-3) **さんに限らず、病棟全体を巻き込むような突発的なこと(心停止・急変など)が起こった時にあなたはどのようにしましたか。具体的に教えてください。</p>	<p>自主的に手伝う 2点</p> <p>仲間から頼まれて手伝う 1点</p> <p>手伝っていない 0点</p> <p>＜状況の把握＞と＜自分の役割＞の合計得点で判断する</p> <p>・状況の把握をしている</p> <p>    流動的な状況を把握している 2点</p> <p>    固定的な状況を把握している 1点</p> <p>・自分の役割</p> <p>    認識している 1点</p> <p>    認識していない 0点</p>
6. インシデントを防ぐ	<p>6-1 看護婦は、患者ケアにおいて不確かなことは確認する</p> <hr/> <p>6-2 看護婦はリスクと可能性を見極めながら、患者の危険なサインが出たらすぐストップできるという構えを持ちながら患者ケアをすすめる</p>	半統制型質問紙による面接	<p>①医師の指示内容が患者の状態にあっていないと思ったとき、あなたはどのようにしましたか?そのときの状況を含めて話して下さい。 →変更 **さん以外の患者でもよいことを明確にした。 13. **さんに限らず、医師の指示内容が患者の状態にあっていない、あるいは不確かだと思ったとき、あなたはどのように判断し、何を行いましたか。一般論ではなく患者さんの状況、医師に働きかけた具体的な言葉、内容をお書きください。</p> <hr/> <p>**さんのADLを上げていったり、維持していくときのことをお聞きします。</p> <p>①**さんにとって、苦痛や危険が伴うけれども、回復のためや**さんの希望に添うようにケアをすすめたことはありますか?その内容を具体的に教えてください →変更 質問を3つにわけ、苦痛や危険を伴うケアの例を示した。 11-1) 苦痛や危険を防ぎながらADL拡大を行ったことがありますか。 (例:術後のADL拡大や心筋梗塞のリハビリ開始など) ( ) はい ( ) いいえ→他の患者で構いませんので引き続き以下の質問にお答えください ( ) 該当なし→12-1)へ進んでください 11-2) そのケアをすすめた時の予測された危険性(リスク)は何ですか。 11-3) それをどう防ぎましたか。 ②そのケアをすすめる中で、ケアを中止したことがありますか?それはどんなサインがあつて中止しましたか?具体的に教えてください。 →変更 質問をふたつにわけ、**さん以外の患者でも回答できるよう質問形式を変えた。</p>	<p>自分の判断を含めて、あつていないと言っている 3点</p> <p>患者の状況を含めて、あつていないと言っている 2点</p> <p>あつていないことのみを言っている 1点</p> <p>あつていないと思つていても、何も言っていない 0点</p> <hr/> <p>合計得点で判断する</p> <p>・患者のリスクを判断している 1点</p> <p>・看護行為が目指しているものや患者の可能性・希望を理解している 1点</p> <p>・危険なサインを理解している 1点</p>

指 標	評 価 内 容	評価方法	評 価 項 目	評 価 尺 度
	<p>6-3 看護婦は、看護ケアを基準や手順通りに行っている</p>	<p>処置・検査・看護ケアの観察および面接</p>	<p>11-4) そのケアをすすめる中で中止したことがありますか。  ( ) はい  ( ) いいえ→他の患者で構いませんので引き続き以下の質問にお答えください  ( ) 該当なし→12-1)へ進んでください  11-5) それはどんなサインがあって中止しましたか。  ③ (ケアを中止したことがない回答では) **さんではなく、今までに経験した患者さんでも構いません。看護ケアを中止したのは、どんなサインがあって中止しましたか?  →削除</p> <p>処置・検査・看護ケアが行われている場面に立ち会う  ・マニュアルにある行為を行わなかった場合→「なぜ…をしなかったのですか？」  ・マニュアルにない行為を行った場合→「なぜ…をしたのですか？」  →変更 評価尺度を選択肢とする質問にした。</p> <p>16. 今日、**さんに行った検査、処置の看護ケアは手順通りに行いましたか。  a. 手順通りに行った  b. 理由があって手順を変更した  c. 手順通りに行わなかった</p>	<p>手順通り/意図して(根拠がある)変更している 1点  手順通りしていない/意図しないで修正/知っていて修正していない 0点</p>

婦長様

看護ケアの質の評価基準の開発に関する質問紙調査  
ご協力をお願い

看護の質を向上させていくためには、看護ケアの質を妥当に評価する評価ツールが必須だと私たちは考えております。これまでに第三者による評価ツールの開発はなされていますが、評価時間や利便性において、さらなる検討課題が指摘されています。

そこで本研究では、新たに看護組織自身で評価できる「自己評価型」質評価ツールの開発を目的に、看護ケアの質の評価に関する質問紙調査を実施することになりました。

質の高い医療サービスへのニーズが急激に高まっていることは周知のことです。それと同様に医療への強い不信すら払拭されていないのが現状だといえます。こうした中、安全で質の高い看護ケアを保証し、かつ改善点を明らかにしていくことは非常に意義あることと考えられます。私たちはその看護ケアの質の保証と改善を推進する一助として、質の自己評価ツールの開発を位置付けています。

第三者評価とのつきあわせを行いながら分析する必要上、過重な負担をおかけすることになり恐縮ですが、次ページの概要および手順に沿ってご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成 年 月 日

平成12年度厚生省科学研究費補助金

医療技術評価総合研究事業

「看護ケアの質評価・改善の管理体制づくりに関する研究」

研究代表者 上泉和子

この研究に関するご質問、お問い合わせは下記のところまでお願いいたします。

<事務局> 〒030-8505 青森市浜館字間瀬 58-1

青森県立保健大学 看護学科内

TEL 017-765-2058 / FAX 017-765-2059

担当 阿部俊枝

## 調査概要

本研究では、看護ケアの質を構造、過程、アウトカムの3つの側面で評価します。

- ①構造とは、医療が提供される条件を構成する側面です。たとえば、マンパワーや設備・備品、組織構造などをさします。
- ②過程とは、ケアそのものことで、看護、診断、治療、患者教育などの医療活動をさします。
- ③アウトカムとは、提供されたケアの結果として現われる、患者の変化です。

上記3つの側面のうち婦長さんには、①の構造評価をお願いいたします。また、②の過程評価のための患者および看護婦の選定、ならびに調査依頼にご協力をお願いいたします。詳細は下記をご参照ください。

## 婦長さんにしていただくこと

手順1: 「構造自己評価用紙」に記入し、同封の返信用封筒で2週間程度でご返送ください。

手順2: 過程自己評価の調査日を決めてください。

手順3: 調査日に次の条件を満たす患者さんを、選定してください。

条件 ①疼痛がある（薬剤などにより完全にコントロールされている患者でも良い）

条件 ②看護婦による保清が行われている

手順4: 上記で選定した患者のその日の受け持ち看護婦に、「調査へのご協力依頼文」と「背景調査票」「過程自己評価用紙」「調査へのご意見」「返信用封筒」を渡し、調査の協力を依頼してください。

このとき、調査を強要しなよう、ご配慮ください。

# 構造自己評価用紙

評価日

評価者

評価施設

評価病棟

評価の方法：1. 評価の対象を見て、評価方法に従い、評価項目をチェックする。  
2. 評価項目の印を見ながら、評価方法に従って評価尺度を用い評価得点を決定し得点欄に記入する。

評価の対象	評価方法	評価項目	評価尺度	得点
書類 看護記録 カルテなど	看護記録カルテなど を見て評価項目に○を つけ、評価尺度で判定	8-1 患者の保清を行うのに必要な情報を書く記録項目がある 1) 安静度 ( ) 項目がある ( ) ない 2) 保清方法 ( ) 項目がある ( ) ない	a (2点) 1)と2)の両方ある b (1点) 1)か2)のどちらかがある c (0点) どちらもない	
書類 看護記録 カルテなど	看護記録カルテなど を見て評価項目に○を つけ、評価尺度で判定	8-2 現在の個々の患者に必要な情報が明記されたものが7/7ありやすい状態にある 1) 体温表 ( ) ステーション内 ( ) ステーション外 2) 看護記録 ( ) ステーション内 ( ) ステーション外 3) 指示表 ( ) ステーション内 ( ) ステーション外 4) ケアプラン用紙 ( ) ステーション内 ( ) ステーション外	a (2点) 全ての記録物がステーションの中にある b (1点) 1つが欠けて、他はステーションの中にある c (0点) 2つ以上欠けて、他はステーションの中にある	
書類 パンフレット 資料	1) から6) の項目 をすべてチェックし、 左の計算式で得点を出 す。	15-1 病気の回復過程、退院後の生活に関して患者に説明するための パンフレットや資料がある 1) 手術を受ける患者 a (1点) 該当する患者がいて、パンフレットや資料がある b (0点) 該当する患者がいて、パンフレットや資料がない c 該当なし 2) 食事指導が必要な患者 a (1点) 該当する患者がいて、パンフレットや資料がある b (0点) 該当する患者がいて、パンフレットや資料がない c 該当なし 3) 生活指導が必要な患者 a (1点) 該当する患者がいて、パンフレットや資料がある b (0点) 該当する患者がいて、パンフレットや資料がない c 該当なし 4) 化学療法を受ける患者 a (1点) 該当する患者がいて、パンフレットや資料がある b (0点) 該当する患者がいて、パンフレットや資料がない c 該当なし	* 病棟になくても他の部署で患者に手渡されていれ ば「ある」とする 1)~6)の合計点 得点 = $\frac{\text{該当する患者がいる項目数}}{\text{項目数}} \times 10$	

評価の対象	評価方法	評価項目	評価尺度	得点
設備 家族が話せる場所	* 家族が話せる場所とは、個室。個室がない場合はディールームなどをみて判断する。	5) 放射線療法を受ける患者 a (1点) 該当する患者がいて、パンフレットや資料がある b (0点) 該当する患者がいて、パンフレットや資料がない c 該当なし		
		6) 医療的な自己管理が必要な患者 a (1点) 該当する患者がいて、パンフレットや資料がある b (0点) 該当する患者がいて、パンフレットや資料がない c 該当なし		
設備 病室大部屋	* その病棟で最も一般的な多床室をみて判断する。	12-1 家族や面会者と病室以外の場所で話したいという希望があったときに提供する場所がある 1) プライバシーが十分に守られている (1) 他者が突然入ってこない工夫がされている (使用中の札や鍵が取り付けられている) (2) 声もれない (外に立って試してみる)	a (2点) 十分 b (1点) 不十分 c (0点) そのような場所はない	
		2) 安楽さが保たれている (1) 廊下の話し声がしない (部屋の中で外の声を聞いてみる) (2) 十分な換気がされている (窓、換気扇、又はエアコンの設置)	a (2点) 話し声が気にならない b (1点) 話し声が気になる c (0点) そのような場所はない	
設備 病室大部屋	* その病棟で最も一般的な多床室をみて判断する。	3) 利便性がある (希望時にいつでも使用できる)	a (2点) 十分 b (1点) 不十分 c (0点) そのような場所はない	
		12-2 ベッドサイドに家族がいることができる十分な空間がある 1) プライバシーが守られている 2) 安楽さが保たれている	a (2点) 使用を待ってもらうことほとんどない b (1点) 使用を待ってもらうことがある c (0点) そのような場所はない	
設備 病室大部屋	* その病棟で最も一般的な多床室をみて判断する。	3) ベッド間隔が十分に確保されている 大部屋患者1人当たり病室面積 ( ) m <sup>2</sup> (管理者に確認する)	a (2点) カーテンがある b (0点) カーテンがない	
			a (2点) 患者用と家族が自由に使える椅子がある b (1点) 患者用の椅子がある c (0点) 患者用の椅子がない	
			a (2点) 6.5m <sup>2</sup> 以上 b (1点) 5.5~6.5m <sup>2</sup> 未満 c (0点) 4.3~5.5m <sup>2</sup> 未満	

評価対象	評価方法	評価項目	評価尺度	得点
看護婦	* あなたの自身の判断で判定する。	14-1 面会時間は、対応した看護婦の判断で融通することができることになっている	a (2点) 対応した看護婦の判断で融通できる b (1点) 婦長か主治医に判断を委ねる c (0点) 融通することはない	
書類 看護基準	* その病棟で特徴的な問題についての看護基準 (例えば骨髄穿刺、心臓カテーテル検査後の看護等) を見て、チェックしてください。	7-1 病棟で起こりうる特徴的な苦痛を伴う処置についての看護基準がある 1) 看護基準の内容に以下の項目が含まれている (1) 患者の一般的な経過 ( ) ある ( ) ない (2) 具体的な観察項目 ( ) ある ( ) ない (3) 具体的なケア項目 (指導内容) ( ) ある ( ) ない (4) (3)に苦痛への対応が含まれている ( ) いる ( ) いない  2) 看護基準の見直しが行われている	a (3点) (1) (2) (3) (4)すべてがある b (2点) (1) (2) (3)がある c (1点) (2) と (3)がある d (0点) 看護基準がない (2)か (3)がない	
書類 看護手順	* 7-1でチェックした看護基準について判定する。  * 7-1で選択した基準について、必要な手順を書く。  * 7-2でチェックした手順について判定する。	7-2 看護婦が行う処置についての手順がある 1) 7-1で選択した看護基準の中で必要な処置について手順が別にある  2) その手順の見直しがされている	a (2点) 1年に1回見直されている b (1点) 1～3年に1回見直されている c (0点) 3年以上見直されていない  a (2点) ある b (0点) ない	
設備 清拭の備品	* 物品については常識的な範囲で代用する。例えばベースンをバケツで代用するなどはおまじくはない。	13-1 石鹸清拭を行うための備品がある 1) ベースン ( ) ある ( ) ない 2) ピッチャー ( ) ある ( ) ない 3) タオル ( ) ある ( ) ない 4) バスタオル ( ) ある ( ) ない 5) 石鹸類 ( ) ある ( ) ない  13-2 シャワー浴あるいは入浴のできる設備・備品がある 1) シャワー浴あるいは普通入浴のできる設備・備品がある 2) 麻痺患者等の臥床患者のための入浴設備として特殊浴槽がある	a (2点) 1～5)の全ての物品がそろっている b (1点) 1)3)5)はそろっている c (0点) 1)3)5)のうち1つでもそろっていない	
設備 入浴設備			a (2点) ある b (0点) ない  a (2点) 病棟内か病院内にある (移動式含む) b (0点) 病棟内にも病院内にもない	

評価対象	評価方法	評価項目	評価尺度	得点
設備 入浴設備		<p>13-3 保清をするための設備・備品の使用に利便性がある</p> <p>1) シャワー・浴室が自由に使用することができる (1) 1週間の中で使用できる日の制限が少ない</p> <p>(2) 使用可能な時間制限が少ない</p> <p>2) 清拭車の蒸しタオルは保清の際、患者が必要時に十分使用することができ</p>	<p>a (2点) 6-7日使用できる b (1点) 4-5日使用できる c (0点) 3日以下しか使用できない</p> <p>a (2点) 12時間以上解放されている b (1点) 8-12時間解放されている c (0点) 8時間以下しか解放されていない</p> <p>a (2点) 患者が必要時に必要な枚数使用できる b (0点) 患者が必要時に使用できない</p>	
書類 看護記録 看護計画表		<p>9-1 担当の患者の看護計画の中に「清潔・食事・移動・排泄」に関する計画が含まれている 清潔の援助 ( ) ある ( ) ない 食事の援助 ( ) ある ( ) ない 移動の援助 ( ) ある ( ) ない 排泄の援助 ( ) ある ( ) ない</p> <p>9-2 床上安静の患者の保清を行う人が明示されている 1) その患者の保清をする人が明確になっているか? ( ) 明示されている ( ) されていない 2) 業務分担をする人が明確になっているか? ( ) 明示されている ( ) されていない</p>	<p>a (2点) 1つ以上含まれている b (0点) 全く含まれていない</p>	
業務分担表	<p>* プライマリーナーシングの場所は、プライマリーナーシングの業務規定の中に「受け持ち患者の日常生活に責任を持つ」と明示されていれば(2点)とする</p>		<p>a (1点) 明示されている b (0点) 明示されていない</p> <p>a (1点) 明示されている b (0点) 明示されていない</p>	
書類 業務分担表	<p>* 誰でもみられるところに明示されている必要がある。</p>	<p>3-1 業務調整がどのようになされているかを明示するシステムがある 1) 調査当日の日勤帯の看護婦の業務分担表がある 業務分担表 ( ) ある ( ) ない 担当する仕事 ( ) 明示されている ( ) されていない</p> <p>2) その日の日勤帯の責任者が明示されている</p>	<p>a (2点) 分担表があり、受け持つ患者が担当する仕事 が明示されている b (1点) 分担表はあるが受け持つ患者、担当する仕事の両方は明示されていない c (0点) 業務分担表がない</p> <p>a (2点) 明示されている b (0点) 明示されていない</p>	

評価対象	評価方法	評価項目	評価尺度	得点
書類 業務規定	<p>* 具体的・理解しやすさ・整備して書かれているかをみて「明示している」とみなす。</p> <p>* 責任内容とは責任をとるべき項目</p> <p>* 業務内容とは仕事として行う内容</p>	<p>3-2 役割毎の業務規定がある</p> <p>1) 婦長 責任内容 (1点) 明示されている (0点) されていない 業務内容 (1点) 明示されている (0点) されていない</p> <hr/> <p>2) その他の役割</p> <p>(1) フライマリーナー 責任内容 (1点) 明示されている (0点) されていない 業務内容 (1点) 明示されている (0点) されていない</p> <p>(2) リーダー 責任内容 (1点) 明示されている (0点) されていない 業務内容 (1点) 明示されている (0点) されていない</p> <p>(3) メンバー (スタッフ) 責任内容 (1点) 明示されている (0点) されていない 業務内容 (1点) 明示されている (0点) されていない</p> <p>(4) 各機能 責任内容 (1点) 明示されている (0点) されていない 業務内容 (1点) 明示されている (0点) されていない</p>	<p>* 責任内容と業務内容の得点をたす。</p> <hr/> <p>* 得点は ・ フライマリーナーシングを採用しているところは(1)で評価する。 ・ チームナーシングを採用しているところは(2)と(3)をたして2で割る ・ 混合型を採用している場合は、(1)、(2)、(3)をたして3で割る。 ・ 機能別を採用しているところは(4)で評価する</p>	
書類 人員配置の基準を記載したもの		<p>5-1 病棟の業務量が増えたときに勤務者数を変えるための決まり事がある。</p> <p>5-2 病棟のスタッフの次員が生じたときに勤務者数を変えるための決まり事がある。</p>	<p>a (2点) 決まり事があり、明文化されている b (1点) 決まり事はあるが明文化されていない c (0点) 決まり事はない</p> <hr/> <p>a (2点) 決まり事があり、明文化されている b (1点) 決まり事はあるが明文化されていない c (0点) 決まり事はない</p>	
書類 カンファレンスの記録		<p>4-1 看護婦間で看護計画を見直すための場や機会がある</p> <p>1) 看護計画を見直すための場や機会があつて、その記録がある  ( ) 有る ( ) ない  ( ) 有る ( ) ない  記録</p>	<p>a (2点) 見直すための場や機会があり、記録がある b (1点) 見直すための場や機会があるが、記録はない c (0点) 見直すための場や機会はない</p>	

評価対象	評価方法	評価項目	評価尺度	得点
		2)1)について次回の場や機会の開催日が決まっている	a(2点) 決まっている b(0点) 決まっていない	
書類 カンファレンスの記録	*カンファレンスの記録や現状をもとに判定する。	2-1 患者の看護ケアに関して、他職種が集まり話し合う場がある 1)話し合う場 ( ) あり ( ) ない 記録 ( ) あり ( ) ない 2)話し合う場の運営の責任は看護婦が持っている	a (2点) 話し合う場があり、記録がある b (1点) 話し合う場はあるが、記録はない c (0点) 話し合う場はない	
看護婦	*あなた自身の感じたことをもとに判定する。	6-1 病棟では看護婦同志や他の職種と気持ちよく仕事ができている 1)看護婦同志 2)他職種	a (3点) 非常に気持ちよく仕事ができる b (2点) まあまあ気持ちよく仕事ができる c (1点) あまり気持ちよく仕事はできない d (0点) 気持ちよく仕事ができない a (3点) 非常に気持ちよく仕事ができる b (2点) まあまあ気持ちよく仕事ができる c (1点) あまり気持ちよく仕事はできない	
設備 お風呂	*片麻痺の患者が介助なしで入浴可能な状態を想定して判断する。	10-3 入浴設備の安全性が確保されている 1)手すり 2)滑り止め (浴室の床にすべらない工夫がされている) 3)ナースコール	a (2点) 浴槽に安全にたどりつくのに十分 b (1点) 不十分 c (0点) 手すりはない a (2点) 浴槽に安全にたどりつくのに十分 b (1点) 不十分 c (0点) 滑り止めはない a (2点) 患者が使いやすい場所に十分ある (十分とは、ナースコールが脱衣所と浴室にそれぞれ設置されていることをいう) b (1点) あるが不十分 c (0点) ナースコールはない	
	*ナースコールが脱衣所と浴室に1個ずつ設置されていることを確認する			